

総務委員会資料

所管事務の調査（報告）

かわさき市民放送株式会社「経営改善及び連携・活用に関する方針」の策定について

資料 1 「経営改善及び連携・活用に関する方針」
（かわさき市民放送株式会社）

平成30年8月24日

総務企画局

経営改善及び連携・活用に関する方針

(平成30(2018)年度～平成33(2021)年度)

法人名(団体名)	かわさき市民放送株式会社	所管課	総務企画局シティプロモーション推進室 広報担当
----------	--------------	-----	----------------------------

経営改善及び連携・活用に関する方針

法人の施策概要

(1)法人の事業概要

- ・放送法に基づく超短波放送事業 ・放送番組の制作及び販売 ・出版および録音事業
- ・音盤の製作および販売 ・映画会、音楽会、講演会等の企画と実施 ・放送に関する人材の育成のための教育事業
- ・防災関連用品の企画、販売 ・前記各号に関連附帯する事業

(2)法人の設立目的

上記事業を行うことを目的とします。

(3)法人のミッション

地域社会に密着した、市民が主人公のコミュニティFMとして、川崎市の豊かな街づくり、市民生活の安心安全に貢献します。

本市施策における法人の役割

- ・市民生活に必要な地域の情報や市の魅力情報をタイムリーに提供します。
- ・市民が発信する情報を通じ、地域のコミュニティづくりに貢献します。
- ・災害時における緊急放送の担い手となります。

法人の取組と関連する計画	市総合計画における位置づけ	基本政策	施策
		誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり	迅速で的確な広報・広聴と市民に開かれた情報共有の推進
	分野別計画	川崎市地域防災計画	

現状と課題

・市内唯一のコミュニティFM局として、市政情報や安全・防災等の生活に役立つ情報から、音楽・芸術・スポーツ等の文化的な情報まで、地域密着の放送を継続しており、災害時には市民が必要とする地域のきめ細かい情報を迅速かつ的確に放送できるよう備えています。災害時等における緊急放送の担い手として期待される役割は、東日本大震災の経験を踏まえ、一層重要になってきているといえます。

・インターネット等の普及によるメディアの多様化により、既存メディア、特にラジオ事業の経営は年々厳しさを増している中、平成28年度には開局以来の累積負債を解消しました。今後も放送外収入の拡大等にも取り組むなど、安定経営を継続していくことが求められています。

・武蔵小杉地区の再開発に伴う高層マンション建設等によりFM送信電波への影響が懸念される状況であり、既存受信エリアの確保に向け、送信所の移設や、これに伴う受信状況の実測調査を行う必要があります。

取組の方向性

(1)経営改善項目

市内に特化した地域情報、災害情報などの提供というコミュニティFMとしての役割を一層発揮していくとともに、更なるコスト削減やスポンサー獲得に向けた積極的な営業活動を行い、本市に依存しない財務体質の確立を図ります。

(2)本市における法人との連携・活用

- ・市内唯一のコミュニティFMとして、広域ラジオやテレビなどのメディアではカバーしきれない市民向けのきめ細やかな情報を発信できることから、市政情報や地域安全・防災等の生活に役立つ情報や、音楽・芸術・スポーツ・イベントなどの市の魅力情報の発信を行います。
- ・災害時には、川崎市地域防災計画に規定されている重要な情報媒体として、総務企画局危機管理室と連携を図りながら、災害応急・復旧時に市民に不可欠な情報を的確かつタイムリーに放送します。

法人名(団体名)	かわさき市民放送株式会社	所管課	総務企画局シティプロモーション推進室 広報担当
----------	--------------	-----	----------------------------

1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画

4力年計画の目標

身近で役立つ魅力的な番組や地域安全・防災情報を提供すると共に、放送事業を中核とした収益の確保を図り、市に依存しない経営を目指します。

- ・市内唯一のコミュニティFMとして、地域の話や、行政・イベント・交通等の地域に密着したきめ細かな情報を提供し、自社ワイド番組での情報発信を強化します。
- ・音楽・スポーツ等、魅力ある番組制作を行うとともに、市民の放送参加や番組出演についても積極的に推進します。
- ・災害時における緊急放送の担い手としての役割を果たすため、定期的に緊急割込放送の訓練を実施するとともに、防災意識の啓発に向けた番組の放送を一層強化します。
- ・新規番組等の獲得及び放送外事業の開拓拡大に取り組み、継続的な収益確保に努めます。

本市施策推進に向けた事業計画

取組No.	事業名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	放送事業	地域情報の発信件数	1,690	1,720	1,750	1,790	1,820	件	
		市民の放送参加人数	442	446	450	455	460	人	
		防災啓発番組の放送回数	119	125	130	135	140	回	
		事業別の行政サービスコスト	△ 5,603	637	△ 1,500	△ 1,500	△ 1,500	千円	

経営健全化に向けた事業計画

取組No.	項目名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	市に依存しない経営体制の確立	市委託料以外の売上比率	48.9	49.2	50	50.8	51.6	%	

業務・組織に関わる計画

取組No.	項目名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	適正・公正な運営体制維持	コンプライアンスに反する事案の発生件数	0	0	0	0	0	件	

法人名(団体名)	かわさき市民放送株式会社	所管課	総務企画局シティプロモーション推進室 広報担当
----------	--------------	-----	----------------------------

2. 本市施策推進に向けた事業計画

事業名		放送事業						
指標		①地域情報の発信件数、②市民の放送参加人数、③防災啓発番組の放送回数						
現状		市民の身近な放送局として、市提供番組枠外においても市民に役立つ情報の提供や市民の番組出演を積極的に実施している。防災関連放送については、コミュニティFMの最大のミッションとして取り組んでいる。市委託料の逦減に対し、市委託料以外の民間等の売上増により事業収益の確保に努めている。						
行動計画		ワイド番組(自社放送枠)内で地域密着情報の発信や市民の放送参加を可能な限り拡大する。また、防災関連については市と連携した訓練や防災啓発番組等の強化を推進する。						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	地域情報の発信件数	1,690	1,720	1,750	1,790	1,820	件
		説明 自社ワイド番組での地域情報発信件数						
	2	市民の放送参加人数	442	446	450	455	460	人
		説明 自社ワイド番組出演の市民の人数						
	3	防災啓発番組の放送回数	119	125	130	135	140	回
		説明 防災訓練放送及び防災啓発番組等の回数						
	4	事業別の行政サービスコスト	△ 5,603	637	△ 1,500	△ 1,500	△ 1,500	千円
		説明 直接事業費－直接自己収入						

3. 経営健全化に向けた計画

項目名		市に依存しない経営体制の確立						
指標		市委託料以外の売上比率						
現状		平成29年度決算における売上高全体に占める市委託料以外の売上額の比率は48.9%。						
行動計画		営業担当に限らない社全体での営業活動強化により、放送枠・スポットCM等の販売を強化するだけでなく、朗読セミナーなど、放送外の収益も確保する。						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	市委託料以外の売上比率	48.9	49.2	50	50.8	51.6	%
	説明	売上高全体に占める市委託料以外の売上額の比率						

4. 業務・組織に関する計画

項目名		適正・公正な運営体制維持						
指標		コンプライアンスに反する事案の発生件数						
現状		法令遵守に基づき運営しています。						
行動計画		法令を遵守した運営が行われる体制を維持していきます。						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	0	0	0	0	0	件
	説明	コンプライアンス違反が認められる事案の発生件数						

法人名(団体名)	かわさき市民放送株式会社	所管課	総務企画局シティプロモーション推進室 広報担当
----------	--------------	-----	----------------------------

(参考)本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画に設定する指標一覧

本市施策推進に向けた事業計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方
		平成29(2017)年度	平成33(2021)年度	
①放送事業				
1	地域情報の発信件数 算出方法 自社ワイド番組での地域情報発信件数	1,690件	1,820件	平日に放送される自社ワイド番組(1日約7時間)について、1時間あたり1件の情報発信を目標としています。
2	市民の放送参加人数 算出方法 自社ワイド番組出演の市民の人数	442人	460人	1回あたり15分～30分の出演時間を想定し、ワイド番組の編成を考慮すると、1週間あたり8～9名の出演人数を確保するための目標値としています。(参考:H26-H29 平均392人)
3	防災啓発番組の放送回数 算出方法 防災訓練放送及び防災啓発番組等の回数	119回	140回	毎週放送の防災啓発番組、毎月の割込み放送訓練、市や区の防災訓練の中継に加え、新たな防災啓発番組等の放送を目指した数値としています。
4	事業別の行政サービスコスト 算出方法 直接事業費－直接自己収入	△5,603千円	△1,500千円	社全体での営業活動強化により、市委託料以外の売り上げを確保することで、マイナスの数値を維持することを目標としています。(参考:H26-H29 平均△1,826千円)

経営健全化に向けた事業計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方
		平成29(2017)年度	平成33(2021)年度	
①市に依存しない経営体制の確立				
1	市委託料以外の売上比率 算出方法 売上高全体に占める市委託料以外の売上額の比率	48.9%	51.6%	国内の企業広告費の動向を見ると、平成29年のラジオ広告費は前年比100.4%とほぼ横ばいとなっており、今後も急激な伸長は望みづらいことから、平成30年度の予算に計上した売上を維持しつつ、市の委託料の逦減(年間3%)を織り込んだ目標値としています。(参考:H26-H29 平均44%)

業務・組織に関する計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方
		平成29(2017)年度	平成33(2021)年度	
①適正・公正な運営組織維持				
1	コンプライアンスに反する事案の発生件数 算出方法 法令違反の事案発生認知数	0件	0件	平成29年度の実績値として、コンプライアンスに反する事案は認められないため、引き続きコンプライアンスの遵守を徹底し、違反件数0件とするを目標値としています。(参考:H26-H29 実績0件)

資金計画表

[平成30年度～平成33年度]

法人名: かわさき市民放送株式会社

(単位:千円)

項目			決算	予算	計画		
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
経常収支	収入	事業収入	39,618	37,864	38,000	38,000	38,000
		委託費収入	41,396	39,136	37,960	36,820	35,710
		その他収入	58	47	50	50	50
		経常収入合計	81,072	77,047	76,010	74,870	73,760
	支出	事業費	34,015	38,501	36,500	36,500	36,500
		管理費	34,627	35,464	35,500	35,000	35,000
		法人税等支払	3,983	1,000	1,300	1,100	800
経常支出合計		72,625	74,965	73,300	72,600	72,300	
	経常収支	8,447	2,082	2,710	2,270	1,460	
投資収支	市債購入等	△ 19,682	0	0	0	0	
	投資等収支	△ 19,682	0	0	0	0	
財務収支	借入れによる収入	0	0	0	0	0	
	借入金償還による支出	0	0	0	0	0	
	利息/配当金の支払	0	0	0	0	0	
	財務収支	0	0	0	0	0	
現金預金増加高			△ 11,235	2,082	2,710	2,270	1,460
期首現金預金			98,347	87,112	89,194	91,904	94,174
期末現金預金			87,112	89,194	91,904	94,174	95,634